

1997

自遊塾倶楽部広報紙

井戸端

通信

Vol.3

発行
平成9年11月1日

発行所 〒930
富山市舟橋北町7-1
富山県民生涯学習カレッジ

特集

塾生
座談会

自由塾

自由

言いたい

放題



講座によってはすでに終了しているもの、また来年まで続く講座などスパンはそれぞれですが、回を重ねるごとにそれぞれに感触や手応えをつかまれたことと思います。そこで今回は、そんな塾生の皆さんに、体験を通じての率直な感想や意見、今後の自遊塾に望むことなどざっくばらんにお聞きしました。

まず、受講動機および体験感想をお聞かせください。

寺西(お茶室の起こし絵図を作ろう) / 重要文化財など歴史的な財産の陰には、それらを保存する高度な技術が存在するなど、優れた文化があることを知った。講座では「今日庵」と「四杉庵」の起こし絵図を作りました。

北尾(スキンシップでE・K・気持) / 体にくりを感してツボがわかれば、少しは楽になるかなと思って。講座では二人でペアを組み、お互いのツボを押し合うのですが、それはさておき、誰かに押しってもらうのは、ほんとに気持ちいい。

坂下(現代川柳入門) / 軽い気持ちで何かしたい。自分でもできるものは何か。と考えていたら、たった17文字で、自分の気持ち表現できる川柳に出会いました。入門当初はテンションカンパんで、よくわかりませんでした。最近ようやくその面白さがわかってきたような気がします。

佐野(ウォーキング冒険塾) / 海坂OMEー

トルく3000メートルのテーマに魅せられて。また毎日が車の生活なので、歩いてみたいーと衝動にかられました。5月17日の常願寺川河口をスタートに9月13日の立山山頂まで計6回を完歩しました。この後、OBI会もあるということですので、今から楽しみにしています。

遠藤(楽しく素敵にワインとお付き合い) / 前回は受講したんですが、実際は都合でそんなに参加できなくて。今年こそはと思って、再受講しました。講座では、ワインの基本的な作り方やセッティングなどワインをとりまく知識やコーディネートについて学びました。

岡岸(思い出の音楽をもとめて世界地図旅行) / 童心に帰りたい、音楽の世界に浸るのもいいかなと。民謡など懐かしい音楽を聴いたり、歌ったり、毎回実に楽しい。塩井(篠笛の手ほどき) / 音感やリズム感に自信がもてなくて、楽器が演奏できれば少しはよくなるかなという願いもあって。篠笛は小さくて持ち運びに便利だし、気軽に習うにはいいと思って選びました。

緒田(ウォーキング冒険塾) / 私の場合、体調をくずし入院したこともあって参加は2回のみ。ちなみに体調をくずしたのは、ウォーキングを始めたからではありません。(爆笑)

中山(バフォーミング・アーツよりダンスバフォーミングの見方) / 以前から社交ダンスをやっているんですが、創作ダンス、モダンダンスの実技や、映画の中のダンスシーンにいたく刺激されまして。体で表現するダンスの技法を学びたくて受講しました。

清水(創造的問題解決の手法) / ドーナツを輪でみるか、穴でみるかという視点が面白い。この講座はそういった現象や実体をいろんな角度でとらえ、解決の方法を探り出していくものです。人によって、多種多様な見方があるのに驚いた。

布目(壁新聞からマルチメディアまで後立つ編集術) / そもそも自遊塾ってどんなものか知りたかった。同講座はたまたま自分のスケジュールと合っていたといういかにも偶然な選定ですが、実際受講してみて、



私たちが日頃なげなく目にする新聞やチラシを別の角度で見直すいい機会になったと思います。

宇佐美（掛け軸の作り方）／何か、作る講座に参加したいと思って。この講座は非常に人気があって、受講できただけでもラッキーなんです。行程的にはそれほどタイトではないけど、一回一回きちんと予定通り仕上げないと、最終的には完成できない。そんなわけで私たち塾生は毎回必死に取り組みます。完成した時は、もう感無量！

宮原（アクティブ人生企画と知的余暇開発術）／自遊塾も自遊塾倶楽部も今年をはじめと知り、興味が湧いて。講座内容は大きめにいうと、人生80年時代を迎え、ますますふえる余暇時間を活用して有意義な人生を送るにはどうしたらいいかを考え、具体的に計画を立て、これからの人生計画のヒントにするというもの。和気あいあいの雰囲気



坂井さん

気の中、異業種の方と知り合いになれ、それなりに収穫はあったと思っています。実はこれを機会に、余暇生活開発士をめざしています。

石川（ミステリーを楽しもう）／ミステリー小説が好きで、昨年に引き続き受講しました。今年は司会を仰せつかり、進行役を担当。結果的には脱線に次ぐ脱線の連続でしたが、一口にミステリーと言っても、その中には歴史や文化が凝縮。改めてミステリーの奥の深さを思い知らされました。

上澤（羊の毛でフェルトを作る）／新聞紙上で、昨年の塾生の見事な作品をみて、すごいなと思って。それなら私も思い立って受講しました。フェルトづくりとは簡単に言えば、羊の原毛を密着させて形作っていくもので、裁縫ができなくても大丈夫。いろいろな色に染色された毛を重ねても活くなります。カラフルな配色が楽しめます。

池田（エミリー・ブロンテ「嵐が丘」を読む）／本を読むのがとにかく苦手。講座を利用して好きになれればと思いい、参加しました。しかし内容的にはかなりマニアック（と私は感じられた）。読書にギターの私には、それが全く理解できない。そんな中でもいつか

は「嵐が丘」の面白さが堪能でき、やがて読書が好きになることを願っています。

九里（タクラマカン沙漠一周に賭けたロマン）／昨年、シルクロードの旅を受講したのと、実際ツアーでタクラマカン沙漠を訪ねたのが参加した理由です。実体験なぞった廣田教授の講義は、臨場感にあふれ、それは楽しく、次の受講日お待ち返しにくい。今年は講座のスタッフとして、食談義を企画するなど、講座を盛り上げたという充実感を味わうことができました。

佐藤（タクラマカン沙漠一周に賭けたロマン）／年齢不問というところに魅せられて参加しました。塾生のほとんどが現役を引退されたものの、過去に素晴らしい体験をなさった人ばかりで、大変勉強になりました。

受講後、考え方が変わったり、生活スタイルに変化が生まれた。ということがありませんか。

石川／2年目を迎え、司会を務めたり、サークルを作るなど、より入れ込むようになったせいか、ミステリーの読書量が増えています。

池田／エミリー・ブロンテにしばらく恋りたい。（爆笑）

宮原／いままでは休日には家にいるだけだったが、家族を巻き込んで、いろんなことができるようになった。

坂下／夫婦であってもそれぞれ違う趣味をもつことはいいとこだと思っ。土日ぐらいいは別行動を取りたい。

北尾／何時に出かけるからと宣言して、主

婦である私のほうがよく出かけるようになった。パートナーにはそれとなくそんなことに慣れさせることも必要。

上澤／仕事から解放されて、やりたいことがあるということが嬉しい。

宇佐美／両親は何もやっていないので、講座についてなかなか理解してもらえないのが難点。

五十嵐（自遊塾倶楽部広報部・壁新聞）／実際の仕事にも直接関連し、内容が実践的なので、即実務に役立っています。

清水／新しい出会いがあって、いろんな考え方や生き方があることを知った。

中山／自分がやっている社交ダンスにも影響を及ぼし、相乗効果を生むような気がする。

経田／仕事と切り離して参加する講座はほっとする。そして純粋に友達としてつき合える、大切な時間です。

岡岸／柳原教授（アクティブ人生企画）に誘われ、チンドンに参加するなど、人の輪が広がっている。

遠藤／ネットワークの広がりを感じる。これからは横のつながりを意識して参加していきたい。

佐野／皆さんと仲良くなれたことが何よりうれしい。

次回に受講してみたい講座はありますか。

坂下／川柳をもっと続けたい。同講座は川柳の基本から教えられ、文字以前の感情の機微などにも触れさせてくれる。

北尾／とくに受けてみたい講座はないが、人が好きだから、いろんな講座にチャレンジ

作業



上野さん





そして、付き合いを広げたい。
寺西／起し絵図の講座を継続していきたい。ひとつのものを深く追求することも大切だが、このような意見交換ができる機会を多く設けた講座もあってはどうかろう。
佐藤／廣田先生の興味あるお話とエネルギーを来年も授かりたい。
九里／永田先生の理性と感性の話の聞いて、興味をそそられた。来年は「創造的問題解決の手法」を受講してみたい。また塾生の中から、教授がどんと生まれることを願っています。私自身、美術鑑賞について伝授したい。
宮原／いろいろやってみてみたいが、来年は「ミラー・ロンパティの習作」を知りたい。
宇佐美／両親と一緒に受講できる、何か楽しい講座を受けたい。
五十嵐／今年の復習もかねて、建築術講座

に再挑戦したい。

中村（自遊塾倶楽部代表

・ウォーキング）／自分

でやることで自遊塾に

お返しをしたい。体力的な

ことに少し知性が光る講座

（？）の講師を担当するなん

このは、どうでしょうか。

布目／来年のことは、まだ何も

考えていない。

清水／創造的問題解決の手法を、来

年も。

経田／今年中途半端になったウォーキン

グを、もう一度、自分で企画してできるも

のを新講座として開講させてみたい。

塩井／音感をよくするものを再び。太鼓が

無理なら、チンドンもいかならぬと思っ

岡岸／ウォーキングにも挑戦したいし、中

村さんの講座にも興味津々。でも林先生と

約束したので、もう一度思い出の音楽の世

界に浸ります。

石川／ミクスチャー講座を来年も受けて、深

めたい。

加藤（ダンス）／今までいろんなサークル

に関わってきたが、ダンスは頭と体の両方

の能力が必要。これからは続けていきたい

と思う。



坂下さん

最後に県民カレッジおよび自遊塾倶楽部に
対する意見や要望を聞かせてください。

寺西／講座によっては、年齢制限があるの
はなぜか。ほんとは掛け軸の講座を受けた
かったのですが。

宇佐美／掛け軸そのものが、定員が16名と
少ない。これでも昨年に比べて4名も追加
されたんですよ。こういう職人芸は教える
人数に限界があるのはしかたがない。

経田／今年の塾生が、来年は講師になる方
法もあると思うが。

寺西／こつこつ問題点を話し合う機会を
多く設けてほしい。

九里／年齢を制限する根拠はどんな理由か
ら？

中村／たとえばウォーキングは、年配者に
はちょっときついのでは。

佐野／一概に年齢のせいとは言えない。歩
き慣れていて、健脚なら多少高齢でもかま
わないと思う。

上澤／年齢の問題もさることながら、受講
したいが子どもがいるので受講できない人
も多い。子どもを一時預かる託児施設を設
けるなど、受け皿は用意できないものか。

塩井／託児施設のあるサンフォルテを会場
にあてるという方法もある。

九里／受講場所をもっと全県的に広げてほ
しい。

中山／ワインがあるのなら、ビール、日本
酒の講座があってもいいのでは。

池田／気功に関心がある。来年開講するこ
いいなあと思います。

大浦（ワイン講座）／ワイン好きが高じて

ハイッ、
わたしたちの

き、きれい！

石川さん
宮原さん



高岡市の学遊塾にも参加しています。ち
なみに自遊塾倶楽部は、運営を手伝ったり
、行事に参加するなど協力させてもらって
います。来年は、話し方講座が新設すれば
いいなあと思います。
上澤／作る講座があまりにも少ない。歴史
的な縄文土器を復元する講座なんてのもあ
つていい。

今回は当「井戸端通信」の掲載記事のため
に、自遊塾倶楽部スタッフや塾生の皆さん
にお集まりいただき、ありがとうございました。
おかげさまで、座談会は掲載テーマ
を越え、広がる議論で白熱し、貴重なご意
見をたくさんいただきました。もちろん、
これで一件落着きというものではありません
が、これからもこつこつした討議、交流する
機会が多く設けられ、自由な気風が育ち、
風通しのいい関係が築かれた自遊塾となる
ことを願っています。

〈順不同 敬称略〉

〆ご協力ありがとうございました。

「井戸端通信」編集局スタッフ一同

佐野さん



自遊塾のなんだかんだ...

報告

宮原小百合 記

「アクティブ人生企画と知的余暇開発術」講座 終了記念公開講座

ほんとうのアクティブ人生は、これから。

1997年度の本講座は、余暇生活開発士である柳原正年先生のもと、県下から集まった20~60代の若者(!)17名の塾生で構成されました。アクティブに生きていくことを学んだ私たちはさっそく塾生同士の交流を盛んに行い、8月には全員参加による「利賀フェスティバル1泊観劇旅行」も実施。最終講座(公開講座)は、9月13日(土)に富山駅北アーバンプレイスビル2Fのインターネットカフェで行われました。他に約20名の一般参加者を迎え、教授の基調講演、塾生の体験発表、インターネット体験など多彩な内容で、盛況を博しました。今後もこの講座は、アクティブ人生企画塾や未来余暇研究所などで活躍と交流をフォローアップしていく予定です。



草紅葉をながめながら、ひたすら頂上をめざす。

(10/19紅葉の唄ヶ岳登山)



Let's Go!!
自遊塾課外授業
同岸香義 記

第3回 坐禅の集い

86,400秒の世界を忘れた、貴重な人生。

自遊塾倶楽部の特別企画として去る8月30日に、各講座より21名の参加者のもと、興国寺にて、「坐禅のつどい」が行われた。

住職の指揮のもと途中休憩をはさんで一時間の坐禅を行った。

坐禅とは「見失った自分を取り戻し、しっかり自主性をつかんで、自分で物事を考え、自分で行動すること。何事にも動かされぬハラができて、健やかに、遅く人生を生きる手段である」という。

今回の参加者各位の得たものは、それぞれ大きな収穫があったものと推察される。その余韻がさめないうちに、池田屋安兵衛商店で薬膳料理を食べながら、交流親睦会を囲った。多忙な一日、すなわち86,400秒の世界を忘れることができ、貴重な人生の一コマとなった。



ハイク王国山田村でインターネットに挑戦!
(9/14山田村中央公民館にて)



お知らせ

あなたも企画、プロデュース!

「平成10年度 県民教授募集」

来年度は、講座を倍増させて、より多くの県民の参加を期待しています。塾生の皆さんも、いよいよ来年は県民教授にチャレンジしてみませんか!

募集期間:平成9年11月17日(月)~12月22日(月)

定員:35名程度

*詳細については、11月10日頃までにチラシがきますので、県教育文化会館やその他公立文化会館、市町村教育委員会、お近くの公民館へお問い合わせください。



11月 * * * *
自遊塾倶楽部の打ち合わせ会

11/8 (第二土曜日)

●午後5時~
●富山県教育文化会館
203号室にて

♪自遊塾ボランティア
以外の方もお気軽に
お越しください。

